



学校教育目標 「未来を拓く」 自立・創造・尊重

校是「自分の未来を拓く生徒、生徒の未来を拓く教職員、地域の未来を拓く学校をめざす」

目指す生徒の姿

自立

自分で考え決断し、自分の生き方を選ぶ

創造

創意工夫し、新たな価値を生み出す

尊重

違いを理解し、相手の気持ちと自分の気持ちを尊重する

<今年度の学校経営の重点>

校長のねがい「すべての生徒が自分らしく伸びゆく学校」

- ① 生徒を中心に据え、任せ、共によりよいものを目指す学校づくり。
- ② より確かで豊かな学びに向かう授業、多様な学びの場を中心に据えた学校づくり。
- ③ 人権教育、キャリア教育、「TOCO-TON」の学びを柱とする学校づくり。
- ④ 積極的に地域づくりへと参画する、地域とともにある学校づくり。

今年度の学校経営の重点にせまるための取組

取組1 主体的な生徒会

生徒の創意工夫や必要感を基に、日常活動をはじめとした各種生徒会活動の充実を図る。

取組2 自分と向き合う清掃

「無言」「時間いっぱい」「気づき」を視点として自分と向き合い、清掃活動を充実させる。

取組3 豊かな人生を支える学び

食育、健康教育、安全教育、図書館教育、情報教育等を通し、豊かな生き方を支える各種教育の充実を図る。

取組4 歌声が響き合う学校

クラス・学年・全校で歌う機会を充実させ、友と共に歌声をつくっていく。

取組5 主体的に追究していく生徒

「主体的」、「友との関わり」を視点とし、基礎力の充実、思考、判断、表現等の力が伸長する授業実践を積み重ねていく。

取組6 校外での学びの充実

「おかやのまちじゅう学園化構想」「スタンダードカリキュラム」を活かし、学校から地域へと学びの場を求めていく。

取組7 人と人をつなぐ挨拶

校内のみならず、様々な場所での相手意識のあるあいさつや返事、返礼等の充実を図り、豊かなコミュニケーション力へとつなげていく。

取組8 温かく安心できる学校

道徳、人権教育、いじめ根絶こども会議、縦割り活動や小中連携等の異年齢交流に加え、地域の方との交流、地域づくりへの参画等を通して、柔軟で多様な価値観を獲得し、自他の違いを認め尊重する心情の涵養を図る。

取組9 総合的な学習の時間の充実 ～主体的に学び、社会とつながり、未来を拓く総合～

生徒の「やりたい」を起点とし、社会とつながり、社会の一員として考え、行動する力を養う。岡谷市中学生メッセ、職場見学、職場体験等を通して職業観を形成したり、友や地域との協働から自己有用感を高めたりしながら、キャリアパスポートも活用し、自己理解を深める。

<評価指標>

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」80%以上、90%をめざす。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」70%以上、80%をめざす。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」70%以上、80%をめざす。
- 「話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」70%以上、80%をめざす。

<安全で安心な東中であり続けるために>

- ① 問題の早期発見・早期解決をねらい毎学期の教育相談の設定、生徒アンケートの実施。
- ② 「いじめ見逃し0」を合言葉とした、迅速的確な生徒指導。
- ③ 「非違行為根絶」、「東中から非違行為は出さない」の意識を全職員で共有。